

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成16年度			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名			01 生きがい創造事業
根拠法令・規程等			①生きがいと創造の事業実施要綱 ②備前市シルバーカード交付要綱
担当課(室)			介護福祉課
職・氏名			高齢者福祉係長・香名美郎
電話			0869-64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	①生きがいと創造の事業：老人クラブ会員 ②シルバーカード交付事業：65歳以上高齢者
目的(何のために)	①在宅高齢者の知識と経験を生かし、その能力と意欲に応じた生産又は創造的活動によって生きがいの高揚を図ることを目的とする。 ②シルバーカードの発行により、家に閉じこもりがちな高齢者が外出するきっかけをつくる。
行政活動(どのような方法で)	①生きがいと創造の事業の活動に対し補助金を交付する。各文化教室の参加を広報する。 ②シルバーカードの広報、発行をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高齢者の外出や社会参加促進を図り、社会的孤立感を解消し、生きがいを持って生活できるようにする。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
陶芸教室教室生	人	27	21	21
木彫教室教室生	人	28	23	24
園芸教室教室生	人	26	23	23
シルバーカード発行	枚	111	152	190
事業費				
直接事業費	千円	455	424	444
必要人員	人	0.10人	0.11人	0.07人
必要人員人件費	千円	920	815	539
事業費計	千円	1,375	1,239	983
国・県支出金	千円	282	254	293
受益者負担金	千円			
繰入金	千円			
市債	千円			
その他()	千円			
一般財源	千円	1,093	985	690
受益者負担比率	%			

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
陶芸教室教室生	人	27	21	21
対前年対比	%	-	77.8%	100.0%
活動コスト	円	393,000	315,000	291,000
単当たりコスト	円	14,556	15,000	13,857
木彫教室教室生	人	28	23	24
対前年対比	%	-	82.1%	104.3%
活動コスト	円	273,000	195,000	171,000
単当たりコスト	円	9,750	8,478	7,125

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
受講率	目標値(A)	92	90	78	78
	実績値(B)	90	74	76	到達目標年度
	達成率(B/A)	97.8%	82.2%	97.4%	毎年度

成果指標設定の考え方・式や説明
各教室の教室生の定員は30人づつであり、受講率向上をめざす。受講者数/定員×100

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 社会参加促進や生きがいをもつことにより、閉じこもりがなくなり健康増進につながる。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 生きがいと創造の事業は老人クラブに要望が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 高齢者の増加により、シルバーカード発行枚数が増加した。生きがいと創造の事業は、老人クラブに対し、補助内容の周知を行った。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 生きがいと創造の事業は老人クラブが自主運営を行っている。能力と意欲に応じた活動が行えているが、受講者が固定化し減少しているため、老人クラブの会議等機会があるたびに広報をし、受講者を増やすことが必要である。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	結果指標量②		成果指標量		78	
	22	25					
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	生きがいと創造の事業は老人クラブの自主運営を促しながらも、孤立しないよう支援を続ける。一部の会員のみ利用となっているので、老人クラブの会議等で積極的に広報をし、新規受講者の掘り起こしを行う。						

総合評価		評価区分<A~E>
高齢者が創造的活動を通じて生きがいを持って生活することは、介護予防の観点からも重要である。教室については自主運営を促しながらも、孤立しないよう支援が必要である。		妥当性 A 有効性 E 効率性 C 総合評価 C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	引き続き新規受講者の掘り起こしを行う。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		